

報告事項 2 市内産農産物の使用状況について

(1) 令和2年度市内産農産物の使用状況(特別栽培農産物及びエコ農産物含む)

本市では、農政課や地方卸売市場、JA千葉みらい等と連携し、安全安心な千葉市産物であるニンジン、コマツナ、キャベツ等を計画的に使用し、小・中・特別支援学校全校で市内共通献立を実施している。

給食センターでは、これ以外にも、通常の献立においても市内産農産物を積極的に使用している。このうち、ニンジンの6月と11月～3月使用の32トンは、特別栽培農産物※を使用している。

※農薬・化学肥料の使用等の制約があり、国が指定したもの

(トン)

年度	ほうれんそう	にんじん	だいこん	じゃがいも	コマツナ	キャベツ	ブロッコリー	合計
H29	0.8	52.7	0.0	2.6	13.9	8.1	0.0	78.1
H30	0.8	55.2	0.0	7.1	12.4	6.5	0.4	82.4
R1	0.6	46.1	1.1	3.0	11.1	7.7	0.5	70.1

(2) 市内産米コシヒカリの使用状況

本市では、小・中・特別支援学校全校において、平成30年度までは10月から12月まで、令和元年度より1か月延長し、1月まで市内産新米コシヒカリを使用している。

(トン)

年度	給食センター使用量
H29	69.1
H30	71.8
R1	106.2

(3) 千葉市第3次食育推進計画における地産地消の推進の目標

学校給食に市内産農産物を導入することにより、新鮮な旬の農産物を味わい、自然の恵みへの感謝の心や農への理解と郷土を愛する心を育む機会とする。

<数値目標>

学校給食における地場産物※を使用する割合の増加(品目ベース) **30%以上**

※千葉市及び千葉県産の農水畜産物